



2011-12 年度 R I のテーマ「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」
 R I 会長 カルヤン・パネルジー (Reach Within to Embrace Humanity)
八戸南ロータリークラブ会報
 例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル

ガバナー 小山内 康晴 会長 三川 博 幹事 榊 清蔵 会報委員長 岡山 明美
 ホームページ：<http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email：hsrclub@hi-net.ne.jp
 RI 第 2830 地区ホームページ：<http://www.rotary-aomori.org>

第 1775 回例会記録 国際奉仕委員会担当例会
 2012 年 2 月 9 日 (木) 点鐘 12：30

レポート NO.1237

1775 回例会要旨

- ・四つのテスト唱和 小原委員長
- ・会長要件 (集団力学について)
- ・幹事報告
- ・各委員会報告 (出席・親睦)
- ・スペシャル席 久保田会員
- ・国際奉仕委員会 大澤委員長
- ・委員会報告 (新地区補助金監査委員会)
- ・雑誌 I T 広報委員会報告

会長要件 三川会長

前回は引続き集団力学についてのお話です。今回は集団力学とはなんぞやと話しました。我々人間が集まれば心の変化が現れますが、集団力学が十二分に発揮されるのか、それには条件があります。



集団にヒエラルキー、上下関係が無いこと。誰でも自由にものが言えると言う事です。一定の構造があること、場所や時間、メンバーなどの構成の枠組みがあること。リーダーの存在。権力を振るうと言うことではなく、良い方向に進める舵取り役の存在です。この条件がありよい方向に行くのです。

心の動き行動が生じるのはどういうところで生じるかと言うと 個人の内部 個人と個人、自分と相手の間 集団全体、全体の雰囲気です。しかし、集団力学が目指すのは集団が良い方向へ行くのではなく、実は還元されるのは個人であり、個人の成長であります。

ロータリークラブを集団力学で考えた場合、ロータリーは集団力学的にも色々な要素を持っていて、上手く働けば良い方向に行きます。これからも期待して行きたいです。

お祝い

本人誕生祝：赤穂会員、伊藤会員、石橋一男会員、木村会員、慶徳会員



出席報告 木村出席委員長

正会員 43 名出席免除会員を除く会員 35 名中
 本日の例会は免除会員 4 名を含む 33 名出席率 85%
 前々回例会：メ-キップ 2 名で出席率 84%

奥様誕生祝：山田会員

結婚記念日：石橋(忠)会員

委嘱状交付

長嶺会員へ RI2830 地区
 2012 - 13 年度新地区補助
 金監査委員の委嘱状



幹事報告 榊幹事

- * 2/4 の IM 多数の参加ありがとうございました。
- * 理事役員会決定、3 月のプログラム
 1 日：クラブ運営・会員組織委員会担当例会
 8 日：会員選考委員会担当例会
 15 日：ゲストスピーチ又は会員卓話
 22 日：任意休会
 29 日：出席、会報委員会担当例会
- * 蕪島駐車場公衆トイレ完成引渡し式は 2 月 20 日 (月) 15：15 です。15：00 に現場集合。市長も出席します。出欠を取っています。
- * 山村会員から出席免除願いが届き承諾
- * 吉田会員の所属委員会は出席委員会と職業奉仕委員会です。
- * 3/15 申告に使用します、寄付領収書がレターケースに入っています。

ニコニコボックス 松田親睦委員長

三川会長：IM お疲れ様でした。大澤国際奉仕委員長 本日はよろしくお願ひします。

鈴木会員：恒例の博物館ひな人形展が始まりました。ご覧いただけると幸いです。本日早退失礼します。

山村会員：出席免除になり大変ありがとうございました。
 本人誕生祝：赤穂会員、伊藤会員、木村会員、石橋一男会員(古希を迎える年となりました)

結婚記念日：石橋忠三郎会員

パークホテルから連絡 豊川会員

木谷が5月でいったん休職をしますので代わりに松浦になります。ホテル、レストランサービス技能検定1級を持っている係長です。よろしく。

スペシャル席 久保田会員

前に3.11の話をししました。

9.11と3.11の話は長くなりますので、私は音響の仕事と幼稚園のほか福祉関係もやっています。我々も高齢化を迎えていますのでその話を。



老健施設は入所者100名、通所者100名まで受け入れられます。本来そこに来たら元気にして帰ってもらう趣旨のもとでつくっています。デイケアの人はそうなりますし、その事例もあります。入所の人も介護度が低い3くらいの方は良いですが、今は4や5度、寝たきりの方が多くなっています。政策によりますが、このような状態で私もそうですが施設には行きたくないと思います。しかしそれではダメで自分でも入りたい施設作りをと会議で言います。試行錯誤していますが中々かないません。

考えさせられることもあります。グループホームと言い認知症の方を住み込みで見ます。老人アパートみたいな所で、元気な人もいて畑仕事や掃除をしてくれる人も居ますが、保護者の方で「死んだら火葬をして宅配にして」と言う方もいます。山村会員に相談したら、そんなことも出来るそうですが、それも考えさせられました。また、障害がある方で弟が働き兄が入所。ある時兄が家出し探したら田んぼの中で座っていたそうです。施設を利用するとお金がかかるということでトラブルとなり家出したとのこと、その手当てまでは持っていません。私達も元気にしていないとダメです。若い人で、脳梗塞で入っている人もいます。子どもがいるのに奥さんが出て行ったなど、厳しいものがあります。スウェーデンは福祉国家。関税率が高いですが、住んでいる日本人に聞いても税は高いが向こうが良いと言います。学校も福祉もお金が掛かりませんし充実しています。寝たきりがいません。どうしてだと思いませんか？寝たきりにはさせません。寝せない。起こしておきますし、流動食もチューブなどではなく、自分で食べられなければ食べさせません。果たしてそれでよいのか？と。「ものも食べられないで生きている価値があるか」と言われました。国民性もあります。老人介護の一端を話して終わります。

国際奉仕委員会担当例会 大澤委員長

姉妹交流についてお話をしたいと思います。活動報告書の最後に載っていますが、1985年10月17日八戸で姉妹クラブ締結仮調印をおこないました。今は亡き神先生のときです。

1986年4月17日浦項で本調印が行われ、その後3年毎に浦項と八戸を交互で再調印を行っています。今度が9回目、八戸で行うことになっています。本来は熊谷年度ですが、4月19日の蕪島トイレの完成もあり前倒して4月19日に行います。



私が(姉妹交流について)どんなことを考えてきたかロータリーの友2005年9月号に書いた文が掲載されたものとデーリー東北新聞のふみ机に10回掲載された第1回目の分のコピーを配布していますので読んでみてください。他に何かないかと探したら日韓親善会議の資料が出てきました。日本と韓国の会員が一堂に会し行う行事です。1982年1回目の会議が行われ、1983年4月2回目、1985年3回目で韓日。1987年4回目、1992年2月5回目、1994年6回目と盛んに交流が行われてきていました。その基礎は姉妹交流にあります。その後少し時間があり第7回目は2003年東京ディズニーリゾートのホテルで2日間行われ、このときの幹事役が黒田先生でした。RI理事になる基礎を築いたのです。この会議の主旨を述べています。「RIの綱領第4に述べられている国際理解を推進し、隣国との人間関係をすすめるためロータリー精神に則り、前向きな友情を発展させたい・・・」

この会議の中で米山奨学フォーラムが開かれ、私はパネリストとして参加しました。新世代についての考え、その原稿「聞こえますか。日韓新世代の交流」を読んで今日の務めを果たします。(要約です)

「八戸市南RCの大澤と申します。漁港と工業地帯がある環境が似ていると韓国南浦項RCと1985年から姉妹交流を続けています。南浦項RCとは毎年のように周年事業や再調印などで交流、どちらかと言うと接待や観光など賑やかに騒いで終わると言う雰囲気でしたが、いつまでも接待では芸がないと3年ほど前から『よりよい姉妹交流を図るために』と協議会も開きましたが、感じますことは言葉の壁です。李東均PGは勉強して日本語を習得しましたが、私などはハングル語の勉強始めましたが、読めても意味がほとんどわからない情けない状況にあります。

韓国との交流でいつも頭の片隅にあるのは歴史問題ですが、交流に参加しているうちに友情が生まれます。両国間の長い歴史の間、対立することもありましたが、友好関係にあった時代の方がはるかに長いと思います。また文化的にも密接な関係にあり、本当は絆の深い両国だと思っています。ワールドカップサッカー以来韓国の特に若い人の意識の変化が見られたそうです。この機を逃さず若い世代の人が活発に交流することを願っています。

1995年に青森でのRYLAで私は司会を務めました。韓国、日本から多彩な顔ぶれが参加し親善交流について報告や討論がされ、その中の印象に残ったことを報告します。RI第3660地区金PGは『ロータリーの究極の目標は世界平和。人類は皆地球と言う宇宙船に乗り合わせた同胞』と基調講演で述べられました。地区やクラブの姉妹交流に尽力された三沢RCの菊池さんは1925年韓国で生まれ、大邱で終戦まですごしたそうです。大邱はかけがえのない故郷で身を割られるような心の痛みが菊池さんを姉妹交流へと駆り立てたのかもしれませんが。インターアクトの翼でナザレ園を訪問し、高校生は戦争の残酷さを知ったと語っています。平和の尊さを百万篇語るよりも実感することがいかに大事か、今後も多くの日本の、青少年の皆さんに韓国を訪れ色々なことを学び実感して欲しいと思います。一人一人、一つ一つ理解を積み重ねる努力、こ

れをたゆまず続けることが大事なことだと思います」

日韓親善会議の現在の状況は不明ですが、全国のロータリアンが理解して、中断していれば、また再開した時に私は参加したいです。

地区補助金監査に付いて 長嶺会員

2月1日新地区補助金の監査がありました。6つのパイロット地区の一つとして埼玉のバスターガバナーが八戸に来ました。村井PG、小林PG、北向補助金委員長、富岡財団委員長他、私も参加しました。PGが東松山RCのバナーを持ってきてくださり、交換を致しましたので紹介します。

広報・IT・雑誌委員会 三浦委員長

国際年次大会がタイのバンコクで開かれまし横組み50ページに案内があります。縦組み14ページと15ページにバナー自慢があります。当クラブも投稿しています。そのうちに載ると思います。